

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 栗東市社会福祉協議会

※令和6年度 事業報告、総括

気候変動や社会情勢の変化による物価高騰は下がる気配を見せず、人々の生活に大きな影響を与えて続けています。

コロナ禍における特例貸付事業について、令和5年1月から償還が開始されていますが、物価高騰も相まって生活基盤が安定せず償還が厳しい世帯、あるいは貸付時の即効性に重きが置かれたことから生活状況が不明な世帯については、県社協を中心とした「フォローアップ事業」において、世帯状況を把握に努めるとともに償還猶予や免除を含む相談に対応しています。これについては今後9年間にわたって継続していく予定です。

関連して生活困窮世帯へ食品を無料で提供する「フードパントリー」、その前段として家庭等から使いきれない食品を提供いただく「フードドライブ」について関係機関やボランティアの協力を得ながら実施しました。特に「フードドライブ」については県社協はぐくみプロジェクトの一環として市内2店舗にポストを設置し、市民の方々に食品を提供いただいています。

令和6年度から重層的支援体制整備事業の受託により、ひきこもりに関する取組みを本格的に開始しました。専門相談「ゆっくりっと」の相談をもとに、アウトリーチ等を通じた継続的支援、参加支援の取組みをすすめ、潜在化していた複合的な生活課題については、重層的支援体制の特性を活かし、関係機関との連携により世帯単位での支援をおこないました。合わせて、ひきこもりの正しい理解に向けた啓発活動、市民講座を開催しました。

老人福祉センター及び身体障がい者デイサービス事業については、令和6年度から令和10年度の5年間について新たな指定管理のもと運営にあたりるとともに、地域の交流と健康づくり、老人福祉センターの利用促進等を目的に「栗東健康チャレンジ」をアルプラザ栗東で開催し、シニアから子どもまでが楽しく参加できる内容で実施しました。

また、介護保険事業等については本会財政状況から、居宅介護支援事業の人員配置を3名から2名体制に変更した他、訪問介護事業の介護保険部門、居宅介護事業を令和6年度末で廃止としました。令和7年度以降、訪問介護事業は総合事業に特化し、要支援者に重点を置いた運営、同行援護事業は他事業所への移行を行いつつ時限的に運営を行います。

以上、令和6年度の事業のポイントを中心とした総括とし、今後も「つながろう つなげよう 安心のまち りっとう」を基本理念に、今後も地域福祉活動の推進を図ってまいります。実施した事業や活動の詳細については、次頁以降のとおりです。

事項別事業

1. 会務の運営

社会福祉法人としての社会的責務を果たし、適切な運営を図るとともに、事業や地域福祉の推進のため、次の会議を開催しました。(特記以外なごやかセンターで開催)

(1) 理事会の開催

期 日	出席者数	議 案 等
令和6年6月13日	理事 5名 監事 2名 職員 6名	第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度一般会計補正予算及び資金収支決算について 第3号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】 ○協議、報告事項 ・第三者委員の選任報告
12月12日	理事 7名 監事 2名 職員 7名	○協議、報告事項 令和6年度上半期事業・決算報告、評議員会への提出案件について 【了承】 ・事務所移転について
令和7年3月17日	理事 5名 監事 2名 職員 6名	第4号議案 令和6年度補正予算について 第5号議案 令和7年度事業計画について 第6号議案 令和7年度予算について 第7号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】 ○協議、報告事項

(2) 評議員会の開催

期 日	出席者数	議 案 等
令和6年4月16日	評議員8名	第1号議案 理事の選任について【可決】【書面審議】
6月28日	評議員7名 理事 2名 監事 2名 職員 6名	第2号議案 令和5年度事業報告について 第3号議案 令和5年度一般会計補正予算及び資金収支決算について 【全議案可決】
12月19日	評議員8名 理事 2名 監事 1名 職員 6名	令和6年度上半期事業・決算報告【了承】 ・事務所移転について

令和7年3月25日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名 職員 5名	第4号議案 令和6年度補正予算について 第5号議案 令和7年度事業計画について 第6号議案 令和7年度予算について 【全議案可決】
-----------	-----------------------------------	--

(3) 監事会の開催（なごやかセンターで開催）

期 日	出席者数	内 容
令和6年5月23日	監事 2名 理事 1名 職員 7名	令和5年度事業及び決算監査（社協及び共同募金委員会）
11月20日	監事 2名 理事 1名 職員 6名	令和6年度上半期事業及び決算監査 （社協及び共同募金委員会）

(4) 正副会長会の開催（なごやかセンターで開催）

期 日	内 容
令和6年6月6日、12月5日、令和7年3月11日	理事会・評議員会提出案件の協議
上記の他、月1回定例で管理者会議として開催 令和6年4月11日、5月14日、7月11日、8月9日、 9月10日、10月8日、11月5日、 令和7年1月9日、2月6日	執行上の協議

(5) 運営協議会の開催

期 日	出席者数	議 案 等
令和6年8月1日	委員 23名 役職員 9名	本会各課事業の状況報告

(6) 調整会議兼（組織・運営）検討会の開催

本会の中長期的な財政見通しや運営、職員配置等を検討し、適切な運営体制を構築すべく検討会（調整会議兼検討会）を実施し、市とも随時協議を行っています。

令和6年4月23日、5月28日、6月25日、7月23日、8月27日、9月24日、

10月22日、11月26日、12月24日

令和7年1月28日、2月25日、3月25日

(7) 会議・研修等の開催、出席

月	社協・市・関係機関等	県・湖南 他
定期	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者会議、常務理事・課長・課長補佐調整会議 兼検討会、事業課会議、ヘルパー定例会、市役所 各担当課との定例協議（各月1回） ・各課内会議 ・学童保育所常勤指導員会議 ・栗東市民生委員児童委員協議会連合会役員会、正 副会長会 ・栗東市要保護児童対策地域協議会実者会議（毎月 定例） ・栗東市生活困窮者自立支援調整会議（毎月定例） ・滋賀県「じんけん通信」を内部 LAN により啓発 ・保育実践交流（6月～12月） 	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・全体自治会長会 ・社会福祉法人あうん地域密着型特別養護老人ホー ムあうんハウス開所式 ・栗東市事業所人権教育推進協議会役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会事務局長会議（能登半島地震関 連） ・市町社会福祉協議会事務局長会議 ・草津・栗東安全運転管理者協会監事会、理事会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市地域公共交通活性化協議会 ・栗東市総合計画委員会 ・市人権集合研修「初任者研修」 ・栗東市民生委員児童委員協議会連合会総会 ・平和祈念栗東市戦没者追悼実行委員会 ・済生会支部滋賀県済生会地域懇談会 ・栗東市視覚障害者福祉協会総会 ・栗東地区更生保護女性会総会 ・栗東市シルバー人材センター定時総会 ・栗東市心身障害児（者）連合会総会 ・栗東市事業所人権教育推進協議会総会 ・介護予防ボランティア支援講座（1回） ・地域づくり推進事業フォーラム ・学童初任者研修 ・心肺蘇生法（普通救命講習Ⅰ）（2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南地域社会福祉連絡協議会役員会 ・2024年度部落解放・人権政策確立要求びわこ南 部地域実行委員会 第34回定期総会 ・市町社会福祉協議会事務局長会議（能登半島地震関 連） ・市町社会福祉協議会会長会 役員・事務局書記合同 会議
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市食育推進計画策定会議 ・わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ栗東市実行委員 会第2回総会 ・社会福祉法人あうん評議員会 ・特例貸付フォローアップ支援体制に関する個別検 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会事務局長会議（能登半島地震関 連） ・地域福祉権利擁護事業生活支援員／新任職員研修会

	<ul style="list-style-type: none"> 討会 ・総合相談事業 ・介護予防ボランティア支援講座（2回・3回） ・老福人權研修（4回） ・心肺蘇生法（普通救命講習Ⅰ）（3回） ・滋賀県プール安全管理講習会 ・全国学童指導員学校 ・基礎研修 ・救急法 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生広場「私の思い2024」栗東市大会 ・栗東市人権擁護審議会 ・栗東市立ひだまりの家運営委員会 ・栗東市要保護児童対策地域協議会代表者会議 ・じんけんセミナー栗東 ・草津栗東防犯自治会総会 ・栗東市心身障がい児・者レクリエーション・ボウリング大会 ・栗東市地域福祉計画委員会ならびに栗東市地域福祉活動計画委員会 ・栗東市子ども・子育て会議 ・平和祈念栗東市戦没者追悼実行委員会 ・ボランティア養成講座（1～3回） ・地域づくり推進事業フォーラム（2回） ・プール事故防止研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会生活支援資金担当部課長会議 ・社会福祉士実習指導者講習会 ・湖南圏域精神保健医療福祉従事者研修会 ・市町社会福祉協議会ボランティア担当者会議 ・市町社会福祉協議会会長会総会・トップセミナー ・運営適正化委員会運営監視 ・湖南地域社会福祉連絡協議会幹事会 ・子ども食堂アドバンスプロジェクト会議 【オンライン】 ・ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業担当者会議（湖南地域ひきこもり支援フォーラム実行委委員会） ・市町共同募金委員会担当者連絡会および新任基礎研修会 ・市町共同募金会会計基礎研修会【オンライン】
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市心身障がい児・者レクリエーション・スポーツ大会 ・栗東市食育推進計画策定会議 ・栗東市表彰審議会 ・協働事業提案制度・元気創造まちづくり事業実施団体及び未来へつなぐ市民活動応援事業支援希望団体募集説明会 ・栗東市健康づくり推進協議会 ・地域づくり推進事業フォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士実習指導者講習会 ・市町共同募金委員会事務局長・担当者会議 ・災害ボランティアセンターコーディネーター基本研修 ・地域福祉権利擁護事業専門員会議
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市防災会議 ・平和祈念栗東市戦没者追悼式 ・栗東市介護給付適正化支援事業ケアマネジメント研修 ・総合相談事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県共同募金会 市町共同募金委員会臨時事務局長会議 ・自立を助ける住環境づくり～見て・触れて・試せる体験型勉強会～ ・福祉サービス苦情解決研修会応用編

	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり一斉電話相談 ・地域づくり推進事業フォーラム（2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護従業者養成研修(一般課程) ・滋賀地域交通ワークショップ（湖南地域） ・ひきこもり一斉電話相談にかかる研修会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市食育推進計画策定会議 ・栗東市高齢者保健福祉推進協議会 ・栗東市高齢者生きがいと健康づくり推進会議高齢者グランドゴルフ大会 ・大宝西ふれあい解放文化祭 ・介護支援専門員虐待防止研修会 ・ひきこもり支援職員研修 ・8期栗東100歳大学関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会事務局長会議【オンライン】 ・正副安全運転管理者講習 ・同行援護従業者養成研修(一般課程) ・みやざき交流集会2024 Branch Meeting 第2回「子どもの学習支援・生活支援」【オンライン】 ・市町社会福祉協議会事務局長会議【オンライン】 ・滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修 ・ひきこもり支援のための研修会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金運営委員会・審査委員会合同会議、元気創造まちづくり事業公開プレゼンテーション、未来へつなぐ市民活動応援事業登録審査会、元気創造まちづくり事業・未来へつなぐ市民活動応援事業審査会 ・栗東市美術展表彰式 ・老福人権研修（4回） ・じんけんひろば ふれあい文化祭 ・フードパントリー ・葉山圏域・栗東圏域の居宅介護支援事業所対象事例検討他研修会 ・栗東市子ども・子育て会議 ・湖南地域高齢者・障がい者なんでも相談会 ・地域づくり推進事業フォーラム ・「栗東健康チャレンジ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会・事務局長合同会議 ・社協職員オンラインサロン ・南部介護サービス事業者協議会他主催研修会、相手のやる気を引き出す言葉がけ～やってみよう ペップトーク～ ・地域福祉権利擁護事業 生活支援員／新任職員フォローアップ研修会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市高齢者生きがいと健康づくり推進会議高齢者生きがい実践交流会 ・ひきこもり支援を考える講演会 ・重層的支援体制整備事業 第2回情報交換会 ・栗東市重層的支援推進会議 ・人権文化事業 ・防犯研修（3回） ・倫理研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的体制整備事業第2回情報交換会 ・市町社会福祉協議会ボランティア担当者会議 ・地域福祉権利擁護事業専門員会議 ・令和6年度湖南圏域ひきこもり支援者連絡会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援職員研修 ・地域づくり推進事業フォーラム ・「栗東健康チャレンジ」 ・防犯研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南地域社会福祉連絡協議会役職員研修会 ・地域づくり推進事業フォーラム【オンライン】

	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市要保護児童対策地域協議会代表者会議 ・栗東市立ひだまりの家運営審議会 ・ひきこもり一斉電話相談 ・8期栗東100歳大学関係 ・「栗東健康チャレンジ」 ・集合研修（人権・同和問題）「応用研修」 ・老福人権研修（4回） ・保育実践報告検討会 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南地区職業対策連絡協議会・4市企業人権（同和）教育推進協議会交流研修会 ・市町共同募金委員事務局長会議 ・第6回ひきこもり支援を考えるフォーラム ・生活支援コーディネーター情報交換会 ・乳幼児救急救命講習会 ・滋賀県共同募金会配分委員会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい ・栗東市事業所人権教育推進協議会役員会 ・栗東市障がい者の住みよいまちづくり推進協議会 ・栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金委員会 ・元気創造まちづくり・未来へつなぐ市民活動応援事業成果報告会 ・第8期栗東100歳大学アドバイザー会議 ・おひとりさまケース検討会 ・栗東市地域福祉計画委員会ならびに栗東市地域福祉活動計画委員会 ・総合相談事業 ・災害ボランティア講座① ・災害ボランティア講座② ・介護予防ボランティア支援講座（1回） ・保育実践報告検討会 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南地域社会福祉連絡協議会幹事会 ・重層的支援体制整備事業 第3回情報交換会 ・重層的支援体制整備事業担当者研修

2. 広報等啓発活動の展開

社会福祉協議会活動の啓発、住民の社会福祉に対する意識高揚を図るため「栗東ふくし」を全戸配布した他、ホームページによる啓発を行いました。

また、広報の作成とともに社協全般の広報活動について職員が協議する場として広報委員会を設置し、開催しています。

- (1) 広報紙「栗東ふくし」の発行 6回（奇数月1日発行、全戸配布）
- (2) ホームページの運営、公式LINE、インスタグラムの運用
- (3) 広報委員会の開催（毎月1回）

各部署からの職員で構成する広報委員会により、「栗東ふくし」広報の編集やホームページ内容等について協議、検討を行いました。

- (4) 第52回栗東市社会福祉大会の開催

地域福祉の推進・向上に多大な貢献や多額の浄財を寄附いただきました個人並びに団体を表彰

し、その功績を称えました。

令和7年2月15日 9:30～12:00 なごやかセンター 166名参加

○式典・被表彰者表彰

【栗東市社会福祉協議会会長表彰】

社会福祉功労者7名、優良福祉活動団体6団体、社会福祉事業協助者3名・1団体

【滋賀県共同募金会栗東市共同募金委員会会長表彰】

共同募金協助者1団体、共同募金啓発ポスター最優秀者1名、優秀賞3名、佳作5名

(表彰審査会を令和6年12月5日に開催)

○記念講演

「これがワタシの見守られ方」 講師：あそびの工房もくもく屋 事務局長 田川雅規氏

3. 心配ごと相談事業

市民の方が専門相談などで気軽に相談できる体制を図りました。今後の方向性について、相談員からアドバイスをいただく形で、心配ごとの解決への糸口をつかむものとして開設しています。

専門相談		開設日	相談件数
法律相談		第2・4木曜日	88件
司法書士相談		毎月20日	44件
税金相談		第2水曜日(5,7,9,11,12,1,2,3月)	22件
ひきこもり相談事業 よりそい支援 ゆっくりっと(詳細後述)		毎月第3水曜日	43件
電話・窓口相談		随時(職員対応)	333件
合 計			529件

4. 地域福祉権利擁護事業【滋賀県社会福祉協議会からの受託事業】

軽度の認知症高齢者、知的障がい、精神障がいのある方等で自らの判断能力に不安がある場合、あるいはひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、寝たきりの高齢者、重度身体障がい者等、日常生活を営むうえで権利侵害を受ける等の課題がある場合に、福祉サービスの利用援助、日々の金銭の出し入れ、書類等の預かりサービスを実施しました。福祉・行政・医療等、様々な関係機関と連携を図りながら、援助を進めています。

	相談・援助件数	契約件数	本年度新規契約件数	契約終了
認知症高齢者	2,034件	9件	2件	6件
知的障がい者等	2,213件	22件	3件	3件
精神障がい者等	2,581件	12件	—	1件
その他	167件	1件	—	1件
計	6,995件	44件	5件	11件

5. 小地域福祉活動の推進

令和5年度以降、コロナ禍から明け、小地域におけるふれあいサロン等の開催が再開されてきました。そのような状況の中、地域ささえあい推進員が中心となり、進め方を迷っておられる地域の活動者を支援するとともに、新たに活動を興そうとしている人材の発掘と支援のための講座等の実施に努めました。

(1) 出前講座等の実施（資料編参照）

(2) サロン交流会の開催

地域でサロン等地域活動を展開している団体や活動を始めたい思いを持っておられる方々の交流会を開催しました。

サロンで役立つゲームを紹介・体験いただいた後に、グループで日頃の悩み等を話していただきました。

令和7年3月18日 13:30～15:45 なごやかセンター

第1部 歌って 遊んで 体験型サロン

- ① 栗東ハーモニカクラブさんと みんなで歌いましょう
- ② 老人福祉センター一押しのゲームで遊みましょう

第2部 カフェDEサロン 情報交換型サロン おいしいとこどり（グループワーク）

35名参加

- ・ボランティアグループによるミニコンサート
- ・お楽しみゲーム体験
- ・活動報告、情報交換会 等

(3) 地域振興協議会事業への助成及び参画（地域福祉活動支援事業）

地域福祉活動計画に基づき、「つながろう つなげよう」の視点から各地域振興協議会事業の企画、運営について「地域ささえあい推進員」が協力体制をとり、会議等への参加とともに、事業に対する助成を行いました。

【申請、助成状況】

学 区	内 容
治田東学区	「支え合いのまちづくり」推進事業－高齢者の健康づくり－ 令和3、4年度に高齢者を対象に実施した「支え合いのまちづくり」のアンケートから今年度、検討委員会を立ち上げ高齢者の健康づくりについてすすめていくことになった。 100歳体操、自彊術、ヨガと地域の方がコミセンに来られて活動されているので、記録用紙が出る血圧計を購入し、健康管理に努めてもらうように設置する。
治田西学区	「はるにし文化祭」 自主活動の実績の成果の発表及び、治田西学区民相互のふれあいと絆の場を目的とする。 ・作品展示（コミセン利用団体、地域住民の一般募集、コミセン自主企画、地振協5部会の取組みについて（掲示や作品展示）、川柳コンテスト（学区内住民対象）、子ども川柳（学区内小学生対象）、社会を明るくする運動のキャラクターぬり絵（学区内の幼児～中学生対象）、はるにしの木を作成（それぞれの思いを込めて花（用紙）に書き、はるにしの木を咲かせる）、交通安全教室・VR体験（環境交通安全部会主催、草津警察署、草津栗東交

	通安全協会が協力)、抽選会
金勝学区	<p>「ふれあいサロン事業」</p> <p>金勝学区の課題を意識しながら地域の絆づくり、生きがいつくり、健康づくりに意識を高め合うことを目的とする。</p> <p>・シニア卓球教室、笑顔サロン、健康体操運動、金勝学区グラウンドゴルフ大会、花サロン、流しそうめん、認知症予防講座、防災講座、ボウリング大会</p>
葉山東学区	<p>ふれあいサロン事業「葉山東スポーツウェルネス吹矢」</p> <p>性別・年齢問わず誰でも気軽に楽しむことができるスポーツである吹矢を通して、地域の方々の「つながり」や「交流」を図る。更に国スポ・障スポの競技でもある「スポーツウェルネス吹矢」の知名度を高めることにも繋がる。</p> <p>毎月4回の活動日にコミセン葉山東ホールを提供し、「スポーツウェルネス吹矢」を楽しんでいただく。昨年からの継続事業として地域の方々の「つながり」を深める事業となるように展開していく。</p>
葉山学区	<p>「つながろう葉山 地域の絆を深めよう」活動推進事業</p> <p>葉山学区の地域住民、子どもから大人・高齢者まで、コミセン葉山をくつろぎの場・楽しみの場・癒しの場として、多くの方に来館していただけるよう、また、地域の皆様の絆をより一層深めるよう今年度も継続して取り組みを行う。</p> <p>花いっぱい運動事業、ふれあいまつり事業、一人暮らし高齢者宅への訪問、見守り事業</p>
大宝学区	<p>「花いっぱい運動」</p> <p>学区内にJR栗東駅があり、日々多くの方の利用がある。町の玄関口の学区としてふさわしくなるよう全自治会あげて花の植栽による快適環境を創造する。な</p> <p>「通学路点検～通学路を歩いてみよう～」</p> <p>学区内には中山道が通っており、道幅は狭く車の通行量も多い。子どもの通学や高齢者の日常生活における事故防止啓発活動を行う。</p>
大宝東学区	<p>「安心・安全・環境部会の地域安全点検における事故・犯罪防止啓発活動」</p> <p>大宝東学区における住民相互の連帯感を育み、地域社会活動への参加意識を高め、安心・安全活動の充実で交通事故と犯罪防止の啓発活動の推進で地域の課題等を解決していく。</p> <p>〈大宝東学区通学・通園路点検〉</p> <p>子どもたちを交通事故から身を守るために、地振協では通学・通園路の点検活動を実施する。通学路の危険箇所点検と「子ども110番の家」登録宅・事業所へ訪問して、活動への協力御礼と新しい「子ども110番の旗」とともに再確認の為に対応マニュアルを届ける。</p> <p>さらに「飛び出し注意ぼうや」看板が①破損・色抜け等、②現在設置している場所が適切かどうか、③看板自体が飛び出して、交通・通行の障害になっていないか、④頑丈に固定されているか等について点検し、早急に対応が必要なもの以外は第2回目の9月14日に交換を実施する。また路面貼付の飛び出し注意ステッカーは、各自治会から必要枚数を報告してもらい、地振協でまとめて購入する。</p>

(4) 地域福祉活動計画委員会

第3次地域福祉活動計画（令和5年度から5年間）の令和6年度事業計画についての報告と委員によるグループワークを行いました（栗東市地域福祉計画委員会と一体開催）。

期 日	内 容
令和6年 7月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の選出について ・「第4期栗東市地域福祉計画」に係る令和6年度事業計画 ・「第3次栗東市地域福祉活動計画」に係る令和6年度事業計画 ・グループワーク テーマ「孤立・孤独に陥らない地域づくり」～栗東市の良さを活かした各団体での取り組み、こんなのがあったらいいなを考える～ コミュニティセンター治田東 16名出席
令和7年 3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・「第4期栗東市地域福祉計画」に係る令和6年度事業計画の1月末時点進捗管理 ・「第3次栗東市地域福祉活動計画」に係る令和6年度事業計画の1月末時点進捗管理 ・グループワーク テーマ「居場所マップづくりとその拠点でできそうな取組」 市危機管理センター 13名出席

6. 社協会費

本会の活動趣旨に賛同し、物心両面で福祉活動に参加いただき、地域の福祉課題をみんなで解決していけるよう、会員制度を設け、地域福祉の向上にご協力をいただいています。

会費種別	当初予算額	実績額
一般会費（各戸に1世帯700円として依頼）	5,000,000円	4,854,550円
賛助会費（各事業所に1口あたり5,000円として依頼）	1,200,000円	1,081,000円
サポート会費（一口あたり1,000円として依頼）	160,000円	199,000円

7. 善意銀行事業

皆様からの善意の金銭・物品の寄付窓口として開設しました。

預託額（一般・指定） 74件 1,601,548円 物品預託 93件

8. 民生委員児童委員活動との連携

地域福祉活動を推進するために、民生委員児童委員との連携を深め、情報提供、交換等研鑽につとめました。

- ①民生委員児童委員協議会連合会との連携
- ②総会、正副会長会、役員会、定例会、専門部会活動等への出席
- ③小地域福祉活動の推進と啓発

9. 生活援護活動

○CSW（コミュニティソーシャルワーカー）活動

近年、クローズアップされているひきこもりの方や家族の方の支援や、ヤングケアラーの課題や複合的な課題を抱えた方の支援等について、関係機関と連携しながらすすめてきた他、コロナの影響は無い

が、既存の施策や制度では対応が難しい相談については、他の機関と方向性を出し合ったり、栗東生活支援協議会などの支援も考え合わせながら、対応をしてきました。

また、コロナ特例貸付償還に関する相談とともに、同貸付をもっても生活状況が厳しい世帯からの相談にも対応しています。また、金銭面以外にも抱えておられる複数の課題について聴き取り、傾聴を行うとともに、必要な機関に繋げてきました。

今後についても、相談支援を行っていくことはもちろん、包括的な支援体制の構築の一端を担うべく、他機関と連携しながら支援をすすめていきます。

○滋賀県生活福祉資金貸付事業【滋賀県社会福祉協議会からの受託事業、各市町社会福祉協議会が相談・申請窓口として実施】

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、相談支援とともに本資金貸付申請については、民生委員児童委員と連携をとりながら、自立更生、生活援護に必要な資金の貸付を行いました。

資金種別	本年度新規貸付	
①総合支援資金	0件	0円
②福祉資金福祉費	2件	126,000円
③教育支援資金	17件	34,060,000円
④緊急小口資金	3件	270,000円
計	22件	34,456,000円

●新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金の特例貸付後の償還等の相談対応【滋賀県社会福祉協議会からのフォローアップ事業として受託、各市町社会福祉協議会が相談窓口として実施】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少、休業、失業等により生計の維持が困難となった世帯に対し、緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を行いました（令和2年3月25日～令和4年9月30日）。

令和6年1月から償還が開始となっていますが、本貸付をもっても生活状況が改善しない方、償還自体が困難な方（償還免除の方を含む）については県社協、行政とともに生活面に関する相談に対応していきます。

相談対応件数 1,176件（内、訪問194件、来所221件、電話等761件）

○（参考）特例貸付状況（令和2年3月25日～令和4年9月30日）

資金種別	上記期間の貸付累計	
	貸付件数	貸付金額
① 緊急小口資金	993件	187,240,000円
② 総合支援資金	755件	397,150,000円
③ 延長分総合支援資金	295件	156,700,000円
④ 再貸付総合支援資金	456件	245,060,000円
計	2,572件	986,150,000円

○緊急つなぎ資金貸付事業【本会独自事業】

平成30年度より、生活保護や生活福祉資金の申請者を対象に、適用されるまでの間等において、手持ち金が少なく、生活に支障をきたす恐れがある場合に、緊急かつ一時的に生活つなぎ資金を貸し付けることにより、生活の安定を図ることを目的とした「緊急つなぎ資金貸付事業」(本会独自事業)を実施しています。

本年度対応 貸付件数6件、貸付金額 120,000円

○緊急食料・衣料等提供事業【本会独自事業】

市内に居住する生活困窮者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に食料・衣料等の生活に必要な現物(食料・衣料等)を提供することにより、世帯の自立を促し、地域社会の一員として円滑な社会生活が送れるように支援します。

本年度対応：15件

○フードドライブ(栗東市主催、栗東市社会福祉協議会・栗東生活支援協議会協賛)

各家庭で使いきれない、食べきれない食品を寄附いただきました。

期 日	協力来場者	場 所	備 考
令和6年10月29日	15名	アルプラザ栗東	両日で計392点預かり
10月30日	7名	市役所	
・上記の他、 令和5年9月～市内コミュニティセンターで実施。※ボランティアが社協へ届ける。 令和7年1月31日～バロー栗東荻原店/V・drug 霊仙寺店にてポストによるフードドライブ実施。			

○フードパントリー

フードパントリーとは、生活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事をとることができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動のことです。

フードドライブで集まった食品、善意銀行へのご寄附と(一社)栗東生活支援協議会のご協力を用意した食品(米、パスタ、缶詰等)を物価高騰、その他不安定な収入の状況により生活に困窮している世帯へ無償でお渡ししました。

期 日	時 間	来所世帯数	場 所
令和6年 4月30日 5月1日	15:00～18:00	43世帯 21世帯	なごやかセンター (野菜フードパントリー)
11月14日	14:00～18:00	74世帯	なごやかセンター (11月1日～8日予約制)
上記の他、毎月第3月曜日～金曜日(祝祭日除く)8:30～17:00にも対応			

○生活困窮者自立支援事業

◆家計改善支援事業【市受託事業】

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた相談支援を実施するとともに、生活困窮者の家計再生のために、家計収支全体の改善を図り、家計等に関する相談支援を行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録人数	6名	6名	6名	7名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	73名
新規契約人数	—	—	—	1名	—	—	—	—	—	—	—	—	1名
実利用者数	6名	6名	6名	8名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	6名	74名

※被保護者家計改善支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録人数	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	4名	4名	38名
新規契約人数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1名	—	1名
実利用者数	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	3名	4名	4名	39名

電話メール278件、訪問43件、面談65件、ケース会議11件、他機関との情報共有96件

○重層的支援体制整備事業【市受託事業】

●ひきこもり相談事業 よりそい支援「ゆっくりっと」の開設（令和5年11月～）

何らかの理由で地域や社会から孤立した状態にある方やご家族に対して、一緒に考えていく機会や場の創設について検討を進めています。孤独・孤立に陥らないための取り組みの一つとして、日頃の悩みや心配ごとを直接話せる場を設け、「一人で抱え込まない」地域づくりを目的に行っています。 9:00～12:00 毎月第3水曜日が基本 最大3組（一人当たり相談時間50分）

計43件

○相談件数

			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
延 件 数	ひ き こ も り 相 談	事務局 対応	24	40	45	31	29	20	42	38	34	32	36	35	406
		専門員 相談	5	3	2	3	2	2	6	4	4	6	3	3	43
		計	29	43	47	34	31	22	48	42	38	38	39	38	449
実 件 数	ひ き こ も り 相 談	事務局 対応	6	9	11	6	8	8	21	14	14	12	12	14	135
		専門員 相談	4	3	2	3	3	2	5	4	4	5	3	3	41
		計	10	12	13	9	11	10	26	18	18	17	15	17	176
新規相談件数			6	6	3	0	2	0	7	2	4	1	1	0	32

○ひきこもり一斉電話相談（県内社協等が参画）

1回目 令和6年9月13日 相談数：栗東0件 県内全体18件

2回目 令和7年2月13日 相談数：栗東0件 県内全体10件

○ひきこもり市民講座

令和6年12月7日

テーマ「知ることの見守り」 講師 周防 美智子 氏（ゆっくりっと相談員） 参加者19名

○湖南地域ひきこもり者支援フォーラム実行委員会への参画（フォーラムの開催）

令和7年2月1日

テーマ「ひきこもりの対話的支援」 講師 斎藤 環 氏 参加者125名

○ひきこもり関連図書設置 20冊、「あなたによりそうノート」（自由帳）設置

◆女性のための居場所「まるん de さろん」

市内居住の女性の居場所づくりとして、令和3年12月より毎月第3火曜日の10時～12時、なごやかセンター和室に開設。12回開設 延べ58名参加（実利用人数13名）

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	7	7	3	5	5	4	4	3	2	5	5	8	

※女性のつながりサポート事業交流会 令和6年11月9日 長寿社会福祉センター

- ・ 過ごしかたは自由。ワンドリンク・電子レンジを設置し、飲食可。
- ・ 傾聴ボランティア、精神科看護師の配置
- ・ 制作（季節のかざり作り、簡単な手芸等）
- ・ 必要な方には生理用品の配布
- ・ 個別の相談がある場合は、別途相談対応

○令和6年度、女性の相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延 件 数	困窮	84	76	63	66	72	60	71	188	73	68	61	96	978
	C SW	17	16	19	13	10	20	9	14	9	15	17	19	178
	ひきこもり	8	14	14	8	7	10	18	15	15	8	8	17	142
	事務局	8	10	6	8	3	9	8	2	8	8	6	11	87
	計	117	116	102	95	92	99	106	219	105	99	92	143	1,385
実 件 数	困窮	56	42	36	31	33	26	37	94	34	35	26	39	489
	C SW	8	16	10	13	7	10	6	7	6	10	9	14	116
	ひきこもり	4	7	8	4	6	6	12	8	7	4	5	7	78
	事務局	7	6	5	8	3	7	5	2	7	6	3	8	67
	計	75	71	59	56	49	49	60	111	54	55	43	68	750

◆子どもの学習・生活支援事業【市受託事業】

学習支援として「べんきょう会」の実施（生活困窮者支援対応）

経済的にハンディのある主に中学生・高校生に対しての居場所づくり、学習支援と共に生活習慣の定着、会話の中から思いや悩みを汲み取り必要な支援につなげます。

対象：市内の中学生・高校生（ゆうあいの家及びコミュニティセンター葉山東の2カ所で実施）

サポーターとして、学童保育所指導員、ボランティア（教員免許所持者等）等数名が対応。

【ゆうあい】場所：ゆうあいの家 実施日：毎週金曜日、17：00～20：00

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数（回）	4	4	4	4	4	4	4	5	4	3	4	4	48
実利用人数（名）	5	5	5	5	5	6	6	6	7	7	7	7	71
延人数（名）	19	17	17	16	17	22	22	27	25	18	25	20	245
登録生徒数（名）	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	
サポーター数（名）	10	12	11	14	15	13	13	17	13	9	13	14	154

【はやま】場所：コミュニティセンター葉山東 実施日：毎週木曜日、17：00～20：00

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数（回）	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	3	49
実利用人数（名）	7	8	7	9	6	9	7	8	7	8	8	9	93
延べ人数（名）	23	28	26	26	13	29	25	26	22	22	19	20	279
登録生徒数（名）	12	12	12	13	13	14	14	14	14	14	14	14	
サポーター数（名）	12	13	12	17	15	14	19	17	18	16	14	13	180

※電話・メール 92件、面談 54件、訪問・同行 3件、所内会議 7件、その他 26件

◆子ども食堂（市内実施の子ども食堂への支援等）（資料編参照）

滋賀の縁創造実践センターモデル事業として始まり、家庭の事情で寂しさやしんどさを抱えている、あるいは食事をゆっくり食べられない子どもたちの居場所として現在市内9カ所で子ども食堂が開設されています。本会も立ち上げや実施に支援（情報交換や物資等）を行いました。

なお、滋賀県内では令和7年3月31日時点では231カ所で子ども食堂が開設されています。

●栗東生活支援協議会「ふるさと生活サポート応援隊」関連

栗東ロータリークラブ、栗東ライオンズクラブ、栗東青年会議所をはじめ、市内やその周辺に立地する社会福祉を目的とする団体・個人、福祉活動に理解ある企業等をもって組織し、本会（栗東市社会福祉協議会）と連携し、市内の生活困窮者、とりわけ次代を担う青少年を対象に、資金・物資・労力・技術及び情報等をもとに支援活動を行っています。

令和元年度から、栗東市内において生活に課題を抱えるご家庭やその子どもたちの支援団体として、

関係機関、企業、法人、行政等のご理解をいただき、また連携を図りながら、「ふるさと生活サポート応援隊」（粟東生活支援協議会）を設立し継続的な支援を進めています。

※令和6年度事業

○夏休み・春休み子ども応援事業～夏休み・春休み食料支援事業～

子どもの支援に取り組む民間団体の調査で、経済的に困窮する家庭のうち9割以上が「給食がなくなる夏休みに食事の不安を抱えている」ことが分かったという報道を受け、長期休暇中の親子を支援することを目的に実施。レトルト食品など小学生でも簡単に食事の準備ができるようなものをセットし配布しました。

- ① 令和6年7月25日～31日 9:00～16:00 33世帯
- ② 令和6年8月15日～21日 9:00～16:00 45世帯
- ③ 令和7年3月13日～21日 9:00～16:30 43世帯

○「氷の彫刻」（ロータリークラブ補助事業）

一般社団法人全日本司厨士協会京滋地区滋賀県本部氷彫刻部門のシェフをお迎えし、ブロックの氷から作品を見学。シェフからは仕事の話をお聴く時間も設け貴重な体験の機会となりました。

令和6年8月6日 葉山東学童保育所100名、8月27日 治田学童保育所100名

○「りっとう子ども食堂スタッフ研修・交流会」（ロータリークラブ補助事業）

一般社団法人全日本司厨士協会京滋地区滋賀県本部に講師を依頼し、子ども食堂で使える調理のコツやレシピを学び、交流しました。

令和6年9月3日 ゆうあいの家にて 7団体 14名参加

○「グローバル子ども食堂」（ロータリークラブ補助事業）

外国籍の子どもが多い、社協の中学生の学習支援事業において、一般社団法人全日本司厨士協会京滋地区滋賀県本部のご協力により、子どもから希望のあったフィリピン料理（チキンイナサル、トルタントロン）をふるまっていただきました。

令和7年1月30日 コミュニティセンター葉山東にて 子ども7名、スタッフ5名

○「笑顔かがやく“りっとう子”フェスタ」（ロータリークラブ補助事業）

子どもたちの笑顔を増やしたい、また将来や未来を考え、希望を持ってほしいと企画、開催。一般社団法人全日本司厨士協会京滋地区滋賀県本部、トヨタモビリティパーツ(株)、(株)バローホールディングス等の企業や子どものスタッフに協力いただき実施しました。

令和7年2月15日（土）12:00～15:30 コミュニティセンター治田東
子どもたちならびにその家族 約200名参加

内容

- ① シェフの作るカレーライスを食べよう（子どもは無料）12:00～13:15
子ども67食、大人83食（当日スタッフ分含む）
全日本司厨士協会滋賀支部様のご協力
・子ども無料、大人有料200円、子ども用、大人用各100食
・食事中にシェフにより「シェフのおしごと」についてお話しいただく
- ② (株)あきない応援団による遊びコーナー

- (1) ルーレットパターゴルフ (2) わなげ (3) バスケットゴールビンゴ
 (4) 射的 (5) 手裏剣投げ (6) ダーツ (7) ガチャガチャコインカプセル

③ 企業様の協力による体験コーナー

- ・トヨタモビリティパーツ(株)様 ご協力

「水素で動かせ！ミライのクルマ実験教室」13:00～/14:30～

4名×5グループ 2回開催

- ・(株)バローホールディングス様 ご協力

「ワークショップ コスメアート」13:30～15:30

④ 子ども食堂等活動紹介ポスターの掲示

参加者 栗東市内の子どもたち、ならびにその家族 約200名

アンケート協力 55名

スタッフ 栗東ロータリークラブ5名、子ども食堂8名、司厨士協会シェフ3名、
 トヨタモビリティパーツ(株)3名、(株)バローホールディングス1名、
 社協職員6名

共催 栗東ロータリークラブ・栗東市社会福祉協議会・栗東生活支援協議会

○「お祝い子ども食堂」(ロータリークラブ補助事業)

卒業、入学、進級の季節、子ども食堂で、お祝いをされる機会をお手伝いするため、「お祝い子ども食堂」として、一般社団法人全日本司厨士協会京滋地区滋賀県本部のご協力のもと、各子ども食堂に湯せんで温めて、いただける煮込みハンバーグとクリームスープを提供しました。

3月に実施している子ども食堂 8食堂 286食提供

○「ふるサポ♥安心便」

「女性の貧困」「生理の貧困」の支援の一つとして、衛生用品を提供しました。

(随時実施) 延べ356名利用

○「まるん de さろん」～あさこのへや～ (女性の居場所助成) (別掲)

○子ども食堂への活動資金助成 6食堂 699,810円助成

○食糧の受入、提供のしくみづくり 米、レトルト食品、カップラーメン、缶詰、お菓子等

主な食糧受入れ先

- ・善意銀行(社会福祉協議会)
- ・各コミュニティセンターにて実施のフードドライブ
- ・バロー栗東荏原店ならびにV.drug 霊仙寺店にて設置のフードドライブポスト
- ・市内企業が実施されるフードドライブ事業 等

主な食糧提供先

- ・市内の子ども食堂実施団体等へ
- ・緊急食糧提供事業(フードパントリー)等において生活にお困りの方へ

○「マンスリーフードパントリー」への協力(社協実施)

経済的や様々な理由から生活にお困りで、関係機関から紹介された方や世帯に対し、毎月型のフードパントリーを実施しました。

毎月1回、第3週目に必要な方から事前に連絡を受け準備。一定のお米、食糧、必要な方には衛

生用品もお渡ししました、来所時には、生活状況等をおたずねし、関係機関と連携、情報提供や相談支援をしました。 延べ227世帯利用

○「フードパントリー」への協力（社協実施）（別掲）

○「就学応援便」

高校や専門学校、大学に進学する際に、滋賀県社会福祉協議会の教育支援資金を借りられた方に、参考図書等を購入していただけるよう、図書カードを送りました。

対象：滋賀県社協の教育支援金を利用して進学された方 17名

図書カード 高校入学者 8件 80,000円、

大学、専門学校、短期大学入学者9件 180,000円

10. 実習生の受け入れ

各大学や専門学校、関係機関から一定期間、実習生を受入れ、地域福祉部門を中心として認識を深めていただいています。関わる職員についても、常の活動等を再認識する機会にもなっています。

実習依頼元	人数	実習期間	備考
NPO 法人滋賀県社会福祉就労事業振興センター	1名	令和7年1月8～10日, 14～17日, 21～23日の10日間	障害者介護職員養成事業介護職員初任者研修施設実習（通所介護事業所なごやか・老人福祉センターなごやかで受入）
佛教大学（滋賀県社会福祉協議会経由）	1名	令和6年11月12日～16日	介護体験実習受入（通所介護事業所ゆうあいで受入）
県立聾話学校	1名	令和6年4月23日～26日	就業体験受入（大宝学童保育所で受入）
大原医療福祉製菓専門学校	1名	令和6年1月14日～令和7年1月31日	社会福祉士ソーシャルワーク実習受入

11. ボランティア市民活動センターの運営【市補助事業】（資料編参照）

ボランティア市民活動を推進するために、ボランティア市民活動センターの果たす役割は大きく、ニーズに対してのコーディネート、ボランティアや市民活動団体との連携、情報交換を図り、研修会、講座を開催しました。

(1) 相談・登録・調整・紹介事業

- ・相談件数：368件
- ・登録数：登録グループ：89グループ 1,395名
登録サロン：54グループ 425名
個人ボランティア 44名 計1,864名
- ・備品・図書・体験用具の貸出：42件
- ・登録団体活動支援、活動室貸館：354回
- ・ボランティア保険の受付
- ・「栗東ふくし」広報にボラセンページの設定、ホームページの活用等、ボランティア情報の発信

(2) 人材育成・交流・啓発事業

●福祉教育

○市内小中学校へ訪問し福祉学習案内を行った他、市内の小中学校等において、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育て、当事者理解や人権について考える機会として開催される福祉体験学習の支援を行いました。

期 日	実施校	参加数	内 容
令和6年 6月17日	大宝東小学校 6年・3年	59名	車椅子貸出
6月21日	大宝西小学校 3年	60名	車椅子貸出
9月5日	大宝小学校 5年	105名	車椅子、アイマスク貸出
9月11日	聾話学校	40名	車椅子貸出
9月18日	市内小中学校への福祉学習案内配布		12校訪問
10月4日	治田小学校 3年	145名	車椅子、マイマスク貸出
10月25日	葉山東小学校 3年	83名	車椅子貸出
11月1日	大宝小学校 3年	87名	アイマスク、白杖、点字坂、高齢者疑似体験セット貸出
11月11日	治田西小学校 3年	92名	アイマスク、白杖。点字盤貸出
11月21日	治田西小学校 3年	92名	車椅子、高齢者疑似体験セット貸出
11月22日	葉山東小学校 3年	83名	アイマスク、白杖貸出
12月10日	金勝小学校 3年	60名	車椅子、アイマスク、白杖、高齢者疑似体験セット貸出
12月16日	治田東小学校 3年	64名	アイマスク、点字盤貸出
令和7年 1月10日	治田東小学校 4年	80名	車椅子貸出
1月17日	葉山小学校 3年・4年	70名	車椅子、アイマスク、白杖、点字盤貸出
1月17日	治田東小学校 4年	80名	高齢者疑似体験セット貸出
1月27日	治田東小学校 3年	64名	アイマスク貸出
2月18日	聾話学校 小学部	7名	車椅子貸出
2月19日	治田東小学校 4年	3名	車椅子貸出
2月28日	葉山小学校 3年	50名	車椅子貸出

※メールレターの発信（月1回発行）

○ボランティア説明

期 日	参加数	内容他
令和7年 2月21日	6名	滋賀県レイカディア大学受講生 センターならびにボランティア活動、いきいき活動ポイント事業に

		ついて
2月27日	15名	第8期 栗東100歳大学 センターならびにボランティア活動、いきいき活動ポイント事業について

○ボランティアきっかけ支援（なごやかセンターで開催）

期 日	参加数	内容他
令和6年 5月9日、6月13日、7月11日、9月12日	延べ 2名	ゆるボラ「来て Kitte 切手」（切手の周囲切りボランティア）

○「傾聴スキルアップ講座～参加型体験グループ学習」の開催（なごやかセンターで開催）

期 日	参加数	内容他
令和6年 7月10日	22名	第1回 ホップの講座 テーマ「心を開く魔法の質問」
7月20日	28名	第2回 ステップの講座 テーマ「夢の実現を支援するコーチング」
7月26日	24名	第3回 ジャンプの講座 テーマ「内省が深まる傾聴の極意」 各講座講師：HR Exceed 代表 小出民雄氏

○災害ボランティア講座の開催（なごやかセンターで開催）

期 日	参加数	内容他
令和7年 3月19日	39名	災害ボランティア講座① その時、あなたにできること 講師：社会福祉法人 大阪ボランティア協会 青山織衣氏
3月22日	27名	災害ボランティア講座② 地域のみんなで考えておこう ペットの防災対策 講師：一般社団法人滋賀県動物保護管理協会 指導員 岡正利氏

●「ボランティア交流会」

ボランティア市民活動の活性化および市民との交流やふれあいを深めること、ならびに、より多くの市民にボランティアや老人福祉センターを周知・啓発することを目的として開催しました。

○「ボランティアウィーク」（なごやか20周年まつり）

令和6年10月15日（火）～18日（金） 13：00～15：00 391名参加

- ・「なごやか20周年まつり」との共催
- ・ボランティアグループによるステージ発表
- ・ボランティア展示コーナー（登録グループの活動紹介ポスターの展示等）

○「みてよ きいてよ たのしむボランティア交流会」

【企画委員7回実施 延べ52名、実行委員会2回実施38名】

令和6年10月19日（土）13:00～16:00 141名参加

- ・ボランティアおたのしみ交流会 ・ボランティア体験コーナー（ものづくり体験等）
- ・ボランティア展示コーナー（登録グループの活動紹介ポスターの展示等）
- ・赤い羽根共同募金の啓発（赤い羽根共同募金啓発コーナー）

●栗東市心身障がい児・者レクリエーション・スポーツ大会支援

【実行委員会4回 延べ55名】

【ボウリング大会2回 延べ194名】令和6年7月27日、11月16日

【レクリエーションスポーツ大会 310名】令和6年8月3日

障がい児（者）および家族等が地域のボランティアとともにレクリエーション・スポーツ大会等を通して体力の維持・向上を目指しながら各関係団体との相互の親睦を深め、社会参加促進および地域ボランティアの育成を図ることを目的とした団体との連携・支援として実施し、平成26年度より事務局として運営しています。

(3) 連携・協働事業

●栗東高校ボランティア同好会マッチング（ボランティア参加）

期 日	参加数	内 容
令和6年4月		担当教員と協議
6月	5名	SL公園清掃
7月	26名	SL公園清掃、子ども食堂（3丁目のらふ）、 葉山東くじら学童保育所
8月	10名	SL公園清掃、子ども食堂（3丁目のらふ）
9月	13名	SL公園清掃、子ども食堂（3丁目のらふ）
10月	10名	SL公園清掃、子ども食堂（3丁目のらふ）
11月		栗東ふくし11月号記事掲載
12月	7名	SL公園清掃、子ども食堂（3丁目のらふ）
令和7年1月	2名	SL公園清掃
2月	1名	子ども食堂（3丁目のらふ）
3月	10名	SL公園清掃、子ども食堂（3丁目のらふ）

●フードドライブ活動

毎月第2週	各コミセンに集まった食品をお運びボランティアが回収、なごやかセンターまで運搬
毎月2回	(株)バローホールディングスが実施するフードドライブポスト設置について調整。市内2店舗で集まった食品を受け取り。

○ボランティア養成講座の開催（なごやかセンターで開催）（別掲）

1.2. 高齢者福祉活動

要介護高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていくために、福祉・保健の連携を図り、地域住民やボランティア等の協力を得ながら、地域福祉活動、在宅福祉サービスに取り組みました。

(1) 隣保館デイサービス事業「ひだまりひろば」【市受託事業】（資料編参照）

要介護認定で「自立」と認定された概ね65歳以上の高齢者、サービスが必要な方に対して、ひだまりの家でデイサービスの提供を行いました。

実人数：596名、延利用人数：2,450名、1回平均：10.5名

(2) いきいき活動ポイント事業【市受託事業】

60歳以上の市民が事前登録により、介護支援活動を行うことで、地域住民主体の通いの場や互助の充実を推進するとともに、社会参加活動を通じた高齢者等自身の介護予防の推進を図ることを目的として実施。介護支援活動に対してはポイントが付与され、換券により買い物券に交換、あるいは活動団体への寄付（活動費等に充当）ができる制度です。

令和6年度の「栗東ぐるり見守り隊 養成講座（3回シリーズ）では、『頭と身体と心を動かす』をテーマに、傾聴やリスクマネジメント、介護予防介護支援に関する講座を開催しました。自身の介護予防を柱に、地域での助け合いを支援するこの制度に寄り添った内容で、参加者からは「日常生活に役立つ内容だった」「自助の大切さ→共助→公助を知った」「つながりこそ大切」等の感想をいただきました。

個人情報保護はもちろん大切で、守秘義務など人々の意識は高まっているが、地域での声掛けや助け合いの必要性を伝えながら、今後も“いきいき活動”を広めていきたい。

同事業、登録状況（令和7年3月31日現在）

受入施設指定決定数		
介護保険施設（老人福祉センター3件含む）		21件
障がい者福祉施設		2件
いきいき百歳体操		44件
地域高齢者サロン		40件
グラウンドゴルフ		6件
給食ボランティア		1件
子ども食堂		4件
認知症カフェ（介護保険施設数と重複）		1件
ボランティア在宅受入希望個人登録者		39名
ボランティア登録者（個人登録者数）		436名
活動予定内容		
施設ボランティア希望者		222名

百歳体操でのボランティア希望者	363名
サロンでのボランティア希望者	327名
個人宅ボランティア希望者	181名
(内訳は延べ人数を標記、活動場所が複数登録の場合あり)	

○登録説明会の開催 【市内各所 延べ27回 71名】

○研修会（講座） 栗東ぐるり見守り隊 介護予防ボランティア支援講座～頭と身体と心を動かす～

期 日	参加数	内容他（なごやかセンターで開催）
令和6年 5月31日	49名	第1回 傾聴講座 テーマ：信頼関係を構築する傾聴術～安心感や満足感を得るには～ 「共感的傾聴術を学ぶ」～信頼関係を構築するために～ 講師：HR Exceed 代表 小出民雄氏
6月12日	40名	第2回 他人事じゃない講座 テーマ：「高齢者（栗東市民）の安心・安全を語ろう」 ～起きやすい事故やトラブルを未然に防ぐために～ 「リスクマネジメントを考える」～明日は我が身からの転ばぬ先の杖 そしてやっぱり 備えあれば憂いなし～ 講師：草津警察署手原駅前交番所長 中山実氏
6月20日	32名	第3回 介護予防・介護支援講座 テーマ：「頑張りすぎない在宅介護」 「つながりこそ 笑顔～わたしの宝を見つけよう」 講師：大宝の郷 管理者 永島政勝氏
令和7年 3月22日	28名	栗東ぐるり見守り隊 見守り傾聴講座 + 「～ともに過ごして 心ぼかぼか～」 講師：グループホーム大宝の郷 管理者 永島政勝氏

○ボランティア養成講座の開催 （なごやかセンターで開催）（別掲）

(3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター、本会では「地域ささえあい推進員」（SC）の名称で活動）【市受託事業】（資料編参照）

地域の高齢者を中心とした支え合い活動等の体制整備の推進として、同事業を平成30年度から事業受託しています。

令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類相当になり、以降地域の福祉活動が再開されるようになりました。そのような状況の中、地域ささえあい推進員は、地域の活動者とのつながりを絶やさず支援に努めました。

なお、毎月定例で市長寿福祉課の第一層生活支援コーディネーターとの協議を持ち、情報共有し指導を受けながら下記のとおり進めました。

「地域ささえあい推進員」(SC) 地域支援活動

令和6年度	① SC 地域支援活動	② その他の地域支援活動	計
	562	332	894

(①と②は重複するものもあり)

○取り組み内容

1. 集いの場づくりを担う人材の養成

- ① 「退職シニアでつながろう 栗東おやじ塾」の開催
- ② 「おやじ塾フォローアップ講座」の開催
- ③ 栗東市いきいき活動ポイント事業「ぐるり見守り隊養成講座」の協力実施

2. 新たな活動を興そうとしている人材の発掘

- ①活動団体や活動者同士のつながりづくり
 - (1) サロン交流会の開催
 - (2) 民生委員児童委員協議会との情報共有等
- ②栗東市いきいき活動ポイント事業との協働

3. 新たな活動への集中的支援

- ①出前講座の実施
- ②新たな地域活動の立ち上げ支援
- ③「見守りあい活動」の推進

4. 日常的に行われている住民同士の助け合い活動などの支援、顕在化

- ①地域活動に関する相談窓口の充実と活動支援
- ②地域で日常的に行われている活動の顕在化ならびに活動継続支援
- ③社会資源冊子の作成
- ④アセスメントシートの作成

5. 市内各種団体との連携

○第8期栗東100歳大学関係

期 日	内 容	備 考
令和6年10月24日	「身近な地域のささえあい」	コミセン治田西
令和7年2月28日	「より豊かな人生を過ごすために」～ボランティア活動について～いきいきポイントについて	コミセン大宝西
3月10日	栗東100歳大学アドバイザー会議	コミセン治田西

○コミセン、地域振興協議会との連携

期日	内容
令和6年 5月17日	コミセン治田東 令和6年度第1回管理運営委員会
7月10日	治田東学区地振協 第1回支え合いのまちづくり推進事業検討委員会
7月13日	コミセン治田東 管理運営委員会と利用団体代表者との交流会

8月7日	治田東学区地振協 第2回支え合いのまちづくり推進事業検討委員会
9月4日	治田東学区地振協 第3回支え合いのまちづくり推進事業検討委員会
9月13日	コミセン治田東 令和6年度第2回管理運営委員会
11月1日	治田東学区地振協 第4回支え合いのまちづくり推進事業検討委員会
令和7年 1月17日	コミセン治田東 令和6年度第3回管理運営委員会

(4) 関係団体活動協力

○大宝西民協リフレッシュ健康教室協力 会場：コミュニティセンター大宝西
令和6年5月24日～6月28日の毎週金曜日、計5回開催（6月7日は無し）

28名参加（女性19名、男性9名）、延べ144名

ストレッチ運動、ウエイトを用いた筋力運動、音楽に合わせて行うリズム運動、ウォーキング、座位にて行うヨガ他

1.3. 老人福祉センター事業 【指定管理事業（令和6年度～令和10年度）】（資料編参照）

高齢者をはじめ、住民の皆様のコミュニケーションの場、健康増進や教養の向上の場として、感染症対策として検温、消毒などの感染拡大防止策を徹底しながら運営を行っています。

	やすらぎの家	ゆうあいの家	なごやかセンター
団体	45団体851名	358団体 5,798名	252団体5,774名
個人	9,747名	12,451名	12,462名
合計	10,598名	18,249名	18,236名
利用1日平均	42.1名	71.0名	72.4名
内、宿泊	無し	無し	無し
内、巡回バス	2,754名	1,676名	1,828名
巡回バス利用1回平均	13.4名	8.3名	9.0名

○利用者会議の開催（令和6年度利用状況報告等）

- ・やすらぎの家 令和6年11月7日、令和7年3月21日
- ・ゆうあいの家 12月分は書面送付に、令和7年3月7日
- ・なごやかセンター 令和6年11月9日、令和7年3月26日

「栗東健康チャレンジ」 アルプラザ栗東で開催

	期 日	時 間	参加人数
第1回	令和6年11月9日	【午前の部】 11:00～12:30 【午後の部】 13:00～15:00	121名
第2回	令和7年1月18日		140名
第3回	2月15日		250名

地域の交流と健康づくり、老人福祉センターの利用促進等を目的に開催

柔軟性・敏捷性・筋力など自分の体力を知るための「シニア向け体力チェック」、子どもたちが楽しめる3つのゲーム「子どもチャレンジ」などを実施

1 4. 介護保険事業及び介護予防・日常生活支援総合事業（資料編参照）

各介護保険事業の実施の他、平成29年度の制度改正により、要支援の方については総合事業へ移行となったことから、本会において訪問介護事業及び通所介護事業により対応しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、運営を行っています。（※参考（ ）内は令和5年度の実績）

(1) 居宅介護支援事業

居宅サービス計画の作成と各サービス提供事業者との調整、サービスの実施状況及び課題の把握、給付管理、要介護認定等の協力・援助、契約者からの相談対応を実施しました。

※本年度より介護支援専門員が3名→2名体制に変更

利用実人数：75名（95名）、延人数：841名（1,135名）

(2) 訪問介護事業

要介護者・要支援者に対し、居宅において可能な限り自立した日常生活が送れるよう身体介護、家事援助サービスを実施しました。

利用実人数：34名（39名）、延人数：408名（422名）

(3) 通所介護事業

要介護者・要支援者に対し、社会的孤立の解消及び心身機能の維持並びに利用者、家族の身体的・精神的負担の軽減をはかることを目的として実施しました。

・やすらぎ 利用実人数：51名（51名）、延人数：5,745名（5,377名）

・ゆうあい 利用実人数：45名（45名）、延人数：4,652名（4,414名）

・なごやか 利用実人数：34名（49名）、延人数：4,232名（4,106名）

1 5. 心身障がい者（児）福祉活動（資料編参照）

障がい者（児）の自立と福祉活動への参加を促進するため、相談及び活動援助の推進を図りました。

(1) 居宅介護事業

居宅介護：10名、家事援助：761回、身体介護：192回、通院介護：13回

同行援護：7名、延回数：451回

(2) 身体障がい者デイサービス事業【指定管理事業（令和6年度～令和10年度）】【市受託事業】

老人福祉センター事業（3館）と共に次年度からの指定管理申請を行い、令和6年4月1日～令和11年3月31日までの5年間について、指定管理者として決定を受けています。

利用実人数：15名、延人数：708名

(3) 特定相談支援事業【市受託事業】

障がい福祉サービスの申請に係るサービス等利用計画案を作成し、サービスの利用状況を確認、計画の見直しやサービス事業者等との連絡調整にあたりました。

利用数 延べ129件

(4) 短期車イスの貸出：延べ84件

(5) 障がい者団体等への活動援助

16. 児童福祉活動

(1) 学童保育所事業 【指定管理事業（令和4年度～8年度）】（資料編参照）

保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生を対象として、授業の終了後、適切な遊びや生活の場を与え、児童を健全育成しています。

○利用者数（10学童保育所合計）：延べ8,176名

月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数(名)	734	735	727	720	715	693
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数(名)	671	653	648	630	626	624

○令和6年度、学童保育所入所関係

- ・申請書交付および第1次募集 令和6年11月1日～22日
- ・第1.5次募集（治田西） 令和7年1月6日～9日
- ・第2次募集（治田東、治田西、大宝東、大宝西） 令和7年1月15日～24日
- ・随時募集（金勝、治田東、治田西、大宝東、大宝西） 令和7年2月3日～

(2) 栗東市要保護児童対策地域協議会実務者会議への出席（毎月1回）

17. 職員採用試験の実施

部門	職種	実施回数	実施日
通所介護	介護職員	1回	令和6年9月28日
	看護職員	1回	令和6年9月5日
訪問介護	常勤訪問介護員	1回	令和6年5月18日
老人福祉センター	生活指導員	1回	令和7年3月21日
学童保育所	常勤指導員	1回	令和6年12月27日
正規職員（登用）	学童保育所総括	2回	1次試験：令和6年12月19日～1月17日 （課題レポート提出） 2次試験：令和7年2月20日（面接試験）
他、学童保育アルバイト指導員・登録介護・看護職員については随時面接を実施			

18. 共同募金運動（栗東市共同募金委員会）

○赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動状況

	赤い羽根共同募金運動	歳末たすけあい募金運動
募金運動期間	10月1日～12月31日	12月1日～12月31日
目標額	5,000,000円	3,000,000円
実績額（対予算）	4,641,052円（92.8%）	2,611,899円（87.0%）
（参考、R5年度）	4,825,780円（93.9%）	2,779,457円（92.6%）

○関連会議の開催（いずれも、なごやかセンターで開催）

(1) 理事会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和6年6月13日	理事 5名 監事 2名 職員 6名	第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度収支決算について 第3号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】
12月12日	理事 7名 監事 2名 職員 7名	協議、報告事項 令和6年度上半期事業・決算報告、評議員会への提出案件について【了承】
令和7年3月17日	理事 5名 監事 2名 職員 6名	第4号議案 令和6年度補正予算について 第5号議案 令和7年度事業計画について 第6号議案 令和7年度予算について 第7号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】

(2) 評議員会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和6年4月16日	評議員 8名	第1号議案 理事の選任について【可決】【書面審議】
6月28日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名 職員 6名	第2号議案 令和5年度事業報告について 第3号議案 令和5年度収支決算について 【全議案可決】
12月19日	評議員 7名 理事 2名 監事 1名 職員 6名	協議、報告事項 令和6年度上半期事業・決算報告【了承】
令和7年3月25日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名 職員 5名	第4号議案 令和6年度補正予算について 第5号議案 令和7年度事業計画について 第6号議案 令和7年度予算について 【全議案可決】

(3) 監事会の開催（再掲）

期 日	出席数	内 容
令和6年5月23日	監事 2名 理事 1名 職員 7名	令和5年度事業及び決算監査（社協及び共同募金委員会）

11月20日	監事 2名 理事 1名 職員 6名	令和6年度上半期事業及び決算監査 (社協及び共同募金委員会)
--------	-------------------------	-----------------------------------

(4) 募金運動検討委員会の開催

期 日	出席数	協議事項内容
令和6年7月3日	委員 7名 役職員 5名	令和6年度共同募金運動のすすめ方、共同募金を財源とした助成事業について

(5) 審査委員会の開催

地域で活動されている団体から、申請方式で提出いただき、地域福祉の推進に有効活用できるよう審査委員会で審議の後、共同募金・歳末たすけあい募金を財源とした助成を行いました。経費の一部を助成し、その活動の支援を行いました。

期 日	出席数	協議事項内容
令和6年6月10日	委員 7名 役職員 6名	審査基準について 「赤い羽根共同募金助成事業」申請団体について 65団体へ助成
12月3日	委員 7名 役職員 7名	「歳末たすけあい地域活動助成」申請事業(33団体へ助成)、「歳末たすけあい見舞金」申請世帯(27世帯へ交付)についての審査